

研究結果報告書

研究結果

私は2011年4月より日本の経済・産業の歴史を調査するとともに、日本の文明・文化を世界の他の文明と比較して、経済発展と文明・文化の関係を考察してきた。そして、日本の文明・文化が日本企業の経営理念や企業文化にどのような影響を与えたのか、或いは反映してきたのかを調査した。

日本の経済・産業の歴史を分析した範囲は江戸時代から現在までの期間である。江戸時代の経済には政治、社会、経済、文化面の諸側面において近代の萌芽的要素が多く見られた。その中で、江戸時代の経済成長や物流・流通の発展に大きく貢献したのは「近江商人」と呼ばれる商人達であることが判ってきた。近江商人は立派な経営理念を掲げて商い・商売を行っていた。多くの近江商人が「豪商」と呼ばれるようになった。現在、近江商人の経営理念の流れを汲むとされる主な企業には、高島屋、トヨタ自動車、丸紅などが挙げられよう。近江商人の経営理念は日本企業の経営理念、経営道德、企業文化に大きな影響を与えてきたと言えるであろう。近江商人の経営理念の源泉を調べるために、日本の文明・文化の変化を考察してみた。

日本文明は特に2世紀から7世紀の期間に中華文明の影響を大きく受けて成立した文明圏であり、日本一国のみで成立する「孤立文明」であると考えられている。縄文時代において日本は世界最古の土器文明を発展させてきた。時間が経過するにつれ、日本は民族の価値観を維持・発展させながら、大陸の文化を積極的に導入し、学んできた。そして大陸の文化を徐々に「日本化」したのである。日本に入ってきた大陸文化の中で、特に日本の発展にとって重要な役割を果たしてきたのが仏教であった。考察を進めるにつれ、日本の政治、社会、文化に与えてきた仏教の影響が如何に大きなものであったが、理解できた。仏教の教えに基づく「和を以て貴しとなす」「以心伝心」などの精神は、他の文明とは価値観を共有しない。謙虚な姿勢は他の文明を積極的に吸収しつつ「日本化する」という寛容の精神をも育んできた。日本精神を体現した江戸末期の武士、明治初期の日本人は西欧諸国では「江戸しぐさ」と呼ばれる和風の振る舞いで礼儀正しく、立派な国民であると尊敬されていた。日本の国の強さの秘密は、島国と云う地理的条件以外に、「武士道精神」と「仏教の教え」にあると言えるのではないだろうか。近江商人は仏教の教えを自分達の経営理念に取り入れ、「三方良し」という経営理念を産み出した。「三方良し」の精神は現代企業のCSRの源である。インタビューや資料収集を通じて、日本の文化の一つである仏教の教えから生まれた「三方良し」の精神は、現在でも、日本の大企業の経営理念の中に反映されていることが判ってきたのである。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

1) 貿易大学におけるセミナー

題名：日本企業の企業文化に与える日本文明・文化の影響

会議名：同上

発表者：NGUYEN THI THANH AN

日時：2012年12月5日

場所：貿易大学

2) 航空会社の新入社員のトレーニング

題名：従業員の上に火をつける方法—日本企業の経験

発表者名：NGUYEN THI THANH AN

会議名：効果的な経営

日時：2012年11月7日

場所：Vietjet Air航空会社

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

題名：日本企業の企業文化に与える日本文明・文化の影響

発表者：NGUYEN THI THANH AN

掲載誌：貿易大学の雑誌

掲載期間(予定)：2013年3月頃

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

2013年、あるいは2014年にベトナム語で本を出版する予定。題名などはまだ決まっていないが、内容は日本企業の成功の文化的秘訣について執筆する。